

慣らし運転について

適切な慣らし運転を行うと、その後のお車の性能を良い状態に保つことができます。この車は乗り初めてから100kmを走行するまでは急発進、急加速を避け控えめな運転をしてください。

エンジンのかけかた

排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。エンジンは、風通しの良い場所にかけてください。

エンジン始動は、21～24ページの「始動手順」に従って行ってください。

- エンジンをかける前に、オイル、ガソリンなどの点検をしましたか。必ず点検を行ってください。(日常点検は、43ページ参照)
- エンジンをかけるときは、必ずメインスタンドを立ててください。
- 急な飛び出しを防ぐために始動時は、必ずブレーキロックレバーをかけ、後輪をロックしてください。
- 後輪ブレーキの調整が正しく行われていないとロックできません。(後輪ブレーキの調整は、45ページ参照)

⚠️ アドバイス

- スタータスイッチを押して5秒以内でエンジンがかからないときは、一度メインスイッチを“OFF”に戻して10秒以上待ってから再始動してください。これはバッテリー電圧を回復させるためです。
- 無用の空ふかしや長時間の暖機運転はしないでください。ガソリンの無駄使いになるばかりでなく、エンジン等に悪影響を与えます。

🏠 知識

エンジンをかけるときには、スロットルを全開にしないでください。スロットルを全開にしてエンジンを始動しようとすると、PGM-FIユニットが燃料の供給を停止します。